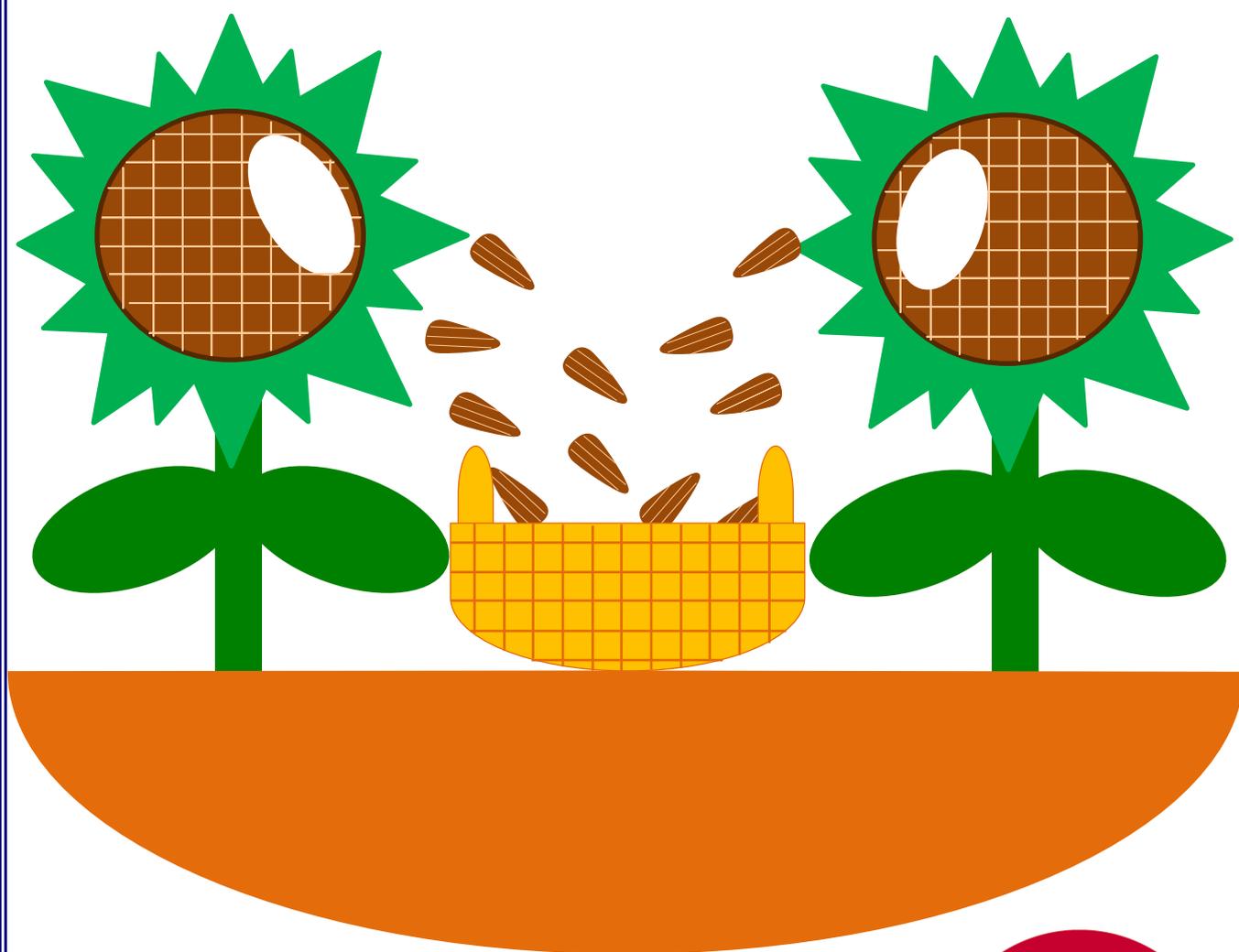


2017（平成29）年度年賀寄附金配分事業

# 活用事例



日本郵便株式会社



## 活用事例目次

### 1. 活動・一般

|     |           |                        |   |
|-----|-----------|------------------------|---|
| 1-1 | 特定非営利活動法人 | みなと研究会（山形県酒田市）         | 1 |
| 1-2 | 特定非営利活動法人 | J A E A（神奈川県川崎市）       | 2 |
| 1-3 | 特定非営利活動法人 | プロジェクトゆうあい（島根県松江市）     | 3 |
| 1-4 | 特定非営利活動法人 | 土佐の森・救援隊（高知県高岡郡）       | 4 |
| 1-5 | 特定非営利活動法人 | シェア＝国際保健協力市民の会（東京都台東区） | 5 |
| 1-6 | 特定非営利活動法人 | 市民シンクタンクひと・まち社（東京都新宿区） | 6 |
| 1-7 | 特定非営利活動法人 | 黒潮実感センター（高知県幡多郡）       | 7 |

### 2. 活動・チャレンジ

|     |           |                      |    |
|-----|-----------|----------------------|----|
| 2-1 | 特定非営利活動法人 | 愛知家族会（愛知県瀬戸市）        | 8  |
| 2-2 | 社会福祉法人    | 千葉いのちの電話（千葉県千葉市）     | 9  |
| 2-3 | 一般社団法人    | 日本いのちの電話連盟（東京都千代田）   | 10 |
| 2-4 | 特定非営利活動法人 | K Aプロジェクト（熊本県上天草市）   | 11 |
| 2-5 | 社会福祉法人    | 筑紫野市社会福祉協議会（福岡県筑紫野市） | 12 |
| 2-6 | 特定非営利活動法人 | しずおか環境教育研究会（静岡県静岡市）  | 13 |

### 3. 施設改修

|     |        |               |    |
|-----|--------|---------------|----|
| 3-1 | 社会福祉法人 | 親誠会（山口県山口市）   | 14 |
| 3-2 | 社会福祉法人 | 上尾芙蓉会（埼玉県上尾市） | 15 |

### 4. 機器購入

|     |           |                       |    |
|-----|-----------|-----------------------|----|
| 4-1 | 社会福祉法人    | 視覚障害者支援総合センター（東京都杉並区） | 16 |
| 4-2 | 特定非営利活動法人 | ライヴ（鳥取県米子市）           | 17 |

### 5. 車両購入

|     |           |                      |    |
|-----|-----------|----------------------|----|
| 5-1 | 社会福祉法人    | 野々市市社会福祉協議会（石川県野々市市） | 18 |
| 5-2 | 特定非営利活動法人 | 犬山あんきにくらそう会（愛知県犬山市）  | 19 |

### 6. 東日本大震災、熊本地震の被災者救助・予防

|     |           |                  |    |
|-----|-----------|------------------|----|
| 6-1 | 特定非営利活動法人 | しんせい（福島県郡山市）     | 20 |
| 6-2 | 特定非営利活動法人 | 五ヶ瀬自然学校（宮崎県西臼杵郡） | 21 |

## 1. 活動・一般プログラム

|  |   |
|--|---|
| 事例 1-1   | 特定非営利活動法人 みなと研究会（山形県酒田市）                    |
| 事業名  | シートベルトを活用したハタハタの産卵床の製作と、カキ殻リサイクルによる循環型社会の形成 |
| 事業種別   | 地球環境の保全を図るために行う事業                           |
| 配分額  | 375 万円                                      |
| <p><b>【事業内容】</b></p> <p>①ハタハタとの共生と循環型海洋資源構築のための事業<br/>→ハタハタを獲るだけでなく、大切な海洋資源として育てて獲る「循環型海洋環境」造りの実施。</p> <p>②ごみゼロ山形推進に海洋資源を利用した新たな取り組みの創出事業<br/>→庄内沿岸で年間 213t 水揚げされる岩ガキの殻をリサイクルして土壌改良剤を製作。</p> <p>③シートベルトをリサイクルして海洋資源を増大する事業<br/>→廃棄されたシートベルトをリサイクルし海藻に見立て、海洋生物が卵を産み付ける「産卵床」を製作し、調査・研究を実施。</p> <p>&lt;実施成果&gt;</p> <p>①ハタハタとの共生事業<br/>→産卵床製作設置 2 基製作（ハタハタの遡上が少なく、荒天で何度も産卵床が破壊されたものの、産卵床には卵が確認された。）<br/>鱒（ハタハタ）祭りの開催 参加者 50 名</p> <p>②海洋資源を利用した新たな取り組みの創出事業<br/>→カキ殻（7 t 収集）から作った土壌改良剤を使用して農作物を栽培<br/>野菜 5 種類、果樹 3 種類の栽培</p> <p>③シートベルトリサイクル事業<br/>→小魚産卵床作成 10m 分作成（300 本のシートベルトを購入）<br/>海洋生物の産卵を確認</p> <p>NHK や山形テレビなど多くの国内メディアに取り上げられただけでなく、NHK WORLD NEWS LINE で国際放送された。</p> |   |
| <p><b>【参考写真】</b></p>   |   |

|  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| 事例 1-2   | 特定非営利活動法人 JAEA（神奈川県川崎市）             |
| 事業名  | 身体に障がいをもつ方々のための社会参加の機会拡充のための救命法普及活動 |
| 事業種別   | 社会福祉の増進を目的とする事業                     |
| 配分額  | 398 万円                              |
| <p><b>【事業内容】</b></p> <p>障がいをもつ方々に対し、健常者との分け隔てなく、平等な義務として「人を助ける技能」の実践的な技能を習得してもらい、保険・医療・福祉なども含め地域安全に貢献し、社会参加の機会拡充につなげる事業。</p> <p>&lt;実施成果&gt;</p> <p>救命手当の方法（心臓マッサージ、人工呼吸、AEDの扱い方など）に関する講習を実施。</p> <p>全国で 22 会場、延べ 483 名が参加。</p> <p>主に聴覚障がい者・視覚障がい者・下肢、上肢障がい者、障がい者補助者が参加。</p> <p>（工夫した点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障がいの方には、パワーポイントでの文字映像と動画DVDを使用し、手話通訳者を配置。</li> <li>・視覚障がいの方には、「点字テキスト」を準備し、AEDのショックボタンに点字シールを貼るなどし、操作しやすいよう工夫。</li> <li>・下肢、上肢障がいの方には、手当の要領を体得してもらうため、柔らかい訓練人形を用い、また、膝の上でもトレーニングできるよう工夫。</li> </ul> <p>&lt;事業を実施して感じた点&gt;</p> <p>段差の解消など、ハード面でのバリアフリー化は進んでいるが、救命講習会などの受入などのソフト面においては、まだまだ高いハードルが設けられている。</p> <p>「耳が悪ければ、音声ガイダンスのAEDは使えないだろう」</p> <p>「目が見えなければ胸骨圧迫の位置が判断できないだろう」</p> <p>などの一方的な思い込みで、現在、面倒なことまでしなくて良いと受入が拒否されている。</p> <p>現実には、手当の方法を工夫したり、講習教材を考慮すれば、たとえ身体に障がいがあっても立派に「救命活動」は行える。</p> <p>この認識の差をなくし、国民が一体となり解消に努めなければならないと感じた。</p> |                                     |
| <p><b>【参考写真】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>   |                                     |

|   |                                    |             |           |            |           |          |           |            |           |           |         |  |  |
|---|------------------------------------|-------------|-----------|------------|-----------|----------|-----------|------------|-----------|-----------|---------|--|--|
| 事例 1-3  | 特定非営利活動法人 プロジェクトゆうあい（島根県松江市）       |             |           |            |           |          |           |            |           |           |         |  |  |
| 事業名   | 障がい者のための収益性の高い就労の場づくり パソコン・リサイクル事業 |             |           |            |           |          |           |            |           |           |         |  |  |
| 事業種別  | 社会福祉の増進を目的とする事業                    |             |           |            |           |          |           |            |           |           |         |  |  |
| 配分額   | 350 万円                             |             |           |            |           |          |           |            |           |           |         |  |  |
| <p><b>【事業内容】</b></p> <p>就労支援の新しい事業として、IT機器のリユース・リサイクル事業を実施。</p> <p>①データ消去サービス事業（情報機器のデータ消去、証明書の発行）</p> <p>②リサイクル事業（廃棄パソコン等を解体・区分し、再利用可能な部品を売却）</p> <p>③リユース事業（再利用可能なIT機器をデータ消去・クリーニング後、製品として販売）</p> <p>なお、上記事業を継続的に運営するために、パソコン修理を行う店舗も同時にオープン。更に、パソコンドッグ 24 とフランチャイズ契約を結ぶことでより多くの集客を図ることを目指す。</p> <p><b>&lt;実施成果&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン等の回収数 合計 848 台 <ul style="list-style-type: none"> <li>→デスクトップ型、ノート型、サーバー型 計 538 台</li> <li>その他 IT 機器 計 310 台</li> </ul> </li> <li>・障がい者雇用数 8 名 <ul style="list-style-type: none"> <li>→目標は障がい者 5 名の雇用であったが毎月のように作業見学や体験を希望する障がい者の方が来所し、結果 8 名の雇用を実現。</li> <li>今後はB型障がい者就労施設の認可を目指し、収容能力の限度（15 名～20 名）までの雇用拡大を目指す。</li> </ul> </li> <li>・パソコン分解作業の研修会 7 回（参加者数 30 名）</li> </ul> <p><b>&lt;事業収入について&gt;</b></p> <p>560,210 円の売上を確保</p> <p>（内訳）</p> <table border="0"> <tr> <td>・ マテリアル資源売却</td> <td>59,649 円</td> <td>・ データ消去証明書</td> <td>153,290 円</td> </tr> <tr> <td>・ テレビ初期化</td> <td>126,039 円</td> <td>・ 中古パソコン販売</td> <td>220,200 円</td> </tr> <tr> <td>・ 中古パーツ販売</td> <td>1,032 円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><b>【参考写真】</b></p>  |                                    | ・ マテリアル資源売却 | 59,649 円  | ・ データ消去証明書 | 153,290 円 | ・ テレビ初期化 | 126,039 円 | ・ 中古パソコン販売 | 220,200 円 | ・ 中古パーツ販売 | 1,032 円 |  |  |
| ・ マテリアル資源売却   | 59,649 円                           | ・ データ消去証明書  | 153,290 円 |            |           |          |           |            |           |           |         |  |  |
| ・ テレビ初期化  | 126,039 円                          | ・ 中古パソコン販売  | 220,200 円 |            |           |          |           |            |           |           |         |  |  |
| ・ 中古パーツ販売   | 1,032 円                            |             |           |            |           |          |           |            |           |           |         |  |  |

|        |                            |
|--------|----------------------------|
| 事例 1-4 | 特定非営利活動法人 土佐の森・救援隊（高知県高岡郡） |
| 事業名    | 日本の森づくりのための自伐林業方式の推進活動事業   |
| 事業種別   | 地球環境の保全を図るために行う事業          |
| 配分額    | 232 万円                     |

**【事業内容】**

現代の大規模・集約型・大型高性能機械方式とは異なる昔ながらの自伐林業方式による森林整備「土佐の森方式」を広め、日本の全国各地の水源涵養、生物多様性、防災等の機能を持つ森林の整備を推進。

**<実施内容>**

- ・「土佐の森方式」の展開のため、講演活動や道づくりの実践活動を実施。
- ・週 1 回薪割機で薪を製造し、山間部に住む高齢者宅に風呂焚き用の薪の配達を実施。

**<実施成果>**

①「土佐の森方式」の普及

→間伐面積 12ha

間伐材の排出量 850 トン

「土佐の森方式」の展開 沖縄を除く全国 78 地域で展開。

事業実施前、全国 60 地域で「土佐の森方式」の取り組みが実施されていたが、新たに 18 地域で取り組みが開始。

②薪づくりの実施

→薪製造回数 年間 50 回実施

製造量 200 トン

薪づくり参加者 年間 756 名（平均 15 名/1 回）

薪配達戸数 27 戸

上記薪づくりについては、2017 年 10 月来襲の台風 21 号により被害を受けた 3 か所で風倒木処理を実施し、復興活動にも寄与。

高知新聞などに記事を取り上げられ、理事長の中嶋氏は、総務省から「ふるさとづくり大賞」を受賞。

**【参考写真】**



|  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| 事例 1-5   | 特定非営利活動法人 シェア＝国際保健協力市民の会（東京都台東区）      |
| 事業名  | 癌や結核、難病等の重病を持つ外国人患者への持続可能な医療通訳体制の検討事業 |
| 事業種別   | がん、結核、小児まひその他特殊な疾病の予防                 |
| 配分額  | 255 万円                                |
| <p><b>【事業内容】</b></p> <p>慎重な告知や病状説明を要する重篤な疾病を持つ外国人患者に関わる医療機関に、言葉の障壁を取り除くための医療通訳を導入するための事業。</p> <p>多様な言語の外国人が住む東京では整備が遅れているため、この体制の整備のため、医療通訳の派遣を行う中で求められる通訳の状況や困難な課題について主に医療ソーシャルワーカー対象の調査を行い、東京都に適した医療通訳派遣体制を検討。</p> <p><b>&lt;実施内容及び成果&gt;</b></p> <p>①がんや難病等の特殊な疾病に関する知識強化を目的とした、医療通訳対象の研修を実施。</p> <p>→年 2 回開催（合計 21 名の参加）</p> <p>研修を実施した結果、実際に子宮頸がん、咽頭がん、エイズなどの複雑なケースに対し、受講者の派遣を実施できた。</p> <p>②医療通訳の確保</p> <p>→21 名 13 言語（タイ、英、中国、ネパール、ヒンディ、ベトナム、モンゴル、ポルトガル、フィリピン、インドネシア、ベンガル、フランス、ミャンマー）を医療通訳として確保。</p> <p>③がん、難病等の特殊な疾患患者に対する医療通訳の派遣</p> <p>→2017 年 4 月～2018 年 3 月の間に外国人医療相談は 198 件（電話対応等対応回数 455 回）、そのうち言語の障壁に関する相談は 84 件。</p> <p>この中から、疾病の重篤さ、緊急性等を勘案し、医療通訳派遣を 40 件実施。</p> <p>④医療通訳派遣を阻む要因や、実際に医療通訳を導入したことによる効果などについての調査の実施。</p> <p>→調査件数 15 件（病院や保健所など 13 機関、のべ 18 名対象）</p> <p>調査の結果、派遣を阻む要因として、通訳派遣サービスについての情報不足、ニーズが医療ソーシャルワーカーに上がっていない等が新たに判明。導入の効果としては、医療従事者・患者双方の理解の深まり、信頼関係の構築等が上げられる。</p> |                                       |
| <p><b>【参考写真】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>   |                                       |

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 事例 1-6 | 特定非営利活動法人 市民シンクタンクひと・まち社（東京都新宿区） |
| 事業名    | 新総合事業に関する実態調査報告集会開催事業            |
| 事業種別   | 社会福祉の増進を目的とした事業                  |
| 配分額    | 45 万円                            |

【事業内容】

自治体が実施している新総合事業の実態調査を行い、報告書を作成。

調査の報告と併せて、学識経験者や行政・市民団体などの違う立場からの活動報告を実施し、意見交換を含めた報告集会を実施。

<実施内容及び成果>

①「新総合事業に関する市民の意向調査・自治体調査 第 2 回報告書 2016 年度」冊子を作成。東京都内 23 区 26 市の自治体・社会福祉協議会、6 自治体のシルバー人材センター、NPO 法人を対象にアンケート調査を実施。回収した回答 104 票をデータとしてまとめ、報告書として冊子を作成。

- ・高齢者が孤立することなく地域で生活するために必要な見守り機能を把握（20 区市町 74 地区で把握）。
- ・12 区市に 19 か所の子ども食堂が、9 区市 10 か所に高齢者の集いの場・相談の場があるものの助成金の活用が少ないことが調査により判明。
- ・サロンなどの子どもと高齢者がともに過ごせる異世代交流の場が増えることで高齢者の孤立を防ぐ手立てとなることが期待される。

②実態調査報告書の報告集会を開催。

参加者 40 名

→介護については、被介護者のみならず、若者が介護のために退学したり、介護離職するなど介護者の多様化と孤立があり、介護者支援と地域の中の支えあいの仕組みが必要であることが判明。

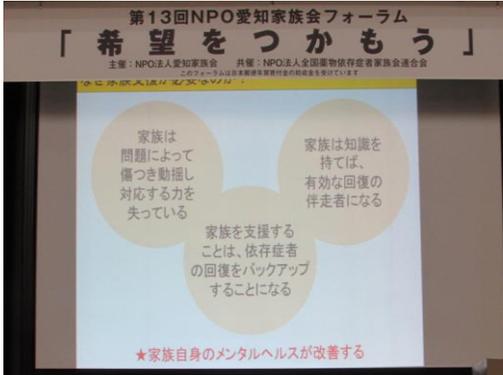
このためには、行政による協働の推進体制が必要なことが提起され、包括的な生活支援体制が必要であることが新たにわかり、今後の調査のための新たな発見となった。

【参考写真】



|  |                              |
|--|------------------------------|
| 事例 1-7   | 特定非営利活動法人 黒潮実感センター（高知県幡多郡）   |
| 事業名  | 持続可能な里海づくりとカーボン・オフセットの普及啓発事業 |
| 事業種別   | 地球環境の保全を図るために行う事業            |
| 配分額  | 355 万円                       |
| <p><b>【事業内容】</b></p> <p>アオリイカの人工産卵床を海底に設置し、アオリイカ資源の回復を目指すとともに、海藻の捕食者であるウニ類を定期的に駆除し、藻場の再生を試みる事業。</p> <p>また、漂着ゴミの清掃や、地元小学生の環境学習の一環として、学習会を実施。</p> <p><b>&lt;実施内容及び成果&gt;</b></p> <p>①アオリイカの人工産卵床の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元小学校の児童を対象に、森川海の繋がり学習と題した事前授業を 5 回実施。</li> <li>・ 近隣の人工林で間伐作業を行い、間伐により生じた不要となる枝葉を回収し、地元の小学生がこの枝葉を使い「マイ産卵床」を製作し、ダイバーが海底に設置。</li> <li>・ 産卵状況を定期的に調査し、その結果を小学生に環境学習の一環として還元。<br/>→アオリイカの産卵床は 100 基設置し、その大半に産卵を確認。</li> </ul> <p>②藻場の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藻場の再生試験を行う場所を特定し、近隣の藻場からホンダワラ類（海藻の一種）を移植し、翌年の生育状況を観察。</li> <li>・ 海藻の捕食者であるウニの定期的な除去。<br/>→ダイバーやスタッフ併せて延べ 60 名参加。<br/>ウニの生息密度 1 平米あたり 12～13 個から 2.2 個まで減少。</li> </ul> <p>③アオリイカのオーナー制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元住民以外の人に間伐材の産卵床を 1 本 10,000 円で購入してもらい、産卵場を作りアオリイカを増やす。地元漁師が釣ったイカは報告書（写真）とともにセットで送付。<br/>→マスコミ各社の協力を仰ぎ、呼びかけを行った結果、過去最高の 98 口の応募があり、海から離れた街の市民にも拡大。</li> </ul> |                              |
| <p><b>【参考写真】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>   |                              |

## 2. 活動・チャレンジプログラム

|  |                         |
|--|-------------------------|
| 事例 2-1   | 特定非営利活動法人 愛知家族会（愛知県瀬戸市） |
| 事業名  | 薬物依存症問題解決フォーラム開催        |
| 事業種別   | 社会福祉の増進を目的とした事業         |
| 配分額  | 30 万円                   |
| <p><b>【事業内容】</b></p> <p>覚醒剤、大麻、処方薬など薬物摂取による薬物依存症の問題を解決に導くため、行政担当、一般人等を広く集め、専門家や回復した依存症者本人を講師としたフォーラムを開催する事業。</p> <p>&lt;実施テーマ及び実施成果&gt;</p> <p>薬物依存症問題解決フォーラムの開催（2018年2月11日）<br/>開催テーマ「希望をつかもう」<br/>（開催目的）<br/>薬物依存症者を抱える家族は、その抱える依存症者を回復させようと必死になっているが結果は伴わず疲弊している。その家族に希望を与え、薬物依存症者を回復に向かわせるための知識、凡例を講演により知ってもらい実行してもらおう。<br/>（参加者数）<br/>一般市民 97名<br/>薬物依存症の専門家 6名<br/>行政機関 5行政機関<br/>医療機関 2医療機関</p> <p>&lt;参加者コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて参加したが、家族会の方からパワーをもらった。私たちも出来ることの協力はしていきたいと思った。</li> <li>・本人、家族の生の思いを聴くことができ、色々な思いを知ることができた。それぞれの家庭にあった寄り添う気持ちを大切に、今後の支援につなげていきたい。</li> <li>・薬物依存症の方が語る体験談には感動した。このまま続けて欲しい。</li> <li>・今回のフォーラムに参加して、まだまだ自分の知識が足りていないと改めて思い知らされた。参加して良かった。</li> </ul> <p><b>【参考写真】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |                         |

|   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| 事例 2-2  | 社会福祉法人 千葉いのちの電話（千葉県千葉市）             |
| 事業名   | 電話相談員の相談対応力ブラッシュアップ研修及び研修ボランティア養成事業 |
| 事業種別  | 社会福祉の増進を目的とした事業                     |
| 配分額   | 50 万円                               |
| <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化する相談に対し、対応できる力をさらに磨くための研修の実施。</li> <li>・相談員の継続的な研修とケアを担当できるスキルをもったボランティア員の養成。</li> </ul> <p><b>&lt;実施内容&gt;</b></p> <p>①対人援助の基本となる人間関係基礎訓練<br/> 「基礎力開発研修」全 6 回 延べ 60 名参加<br/> 「相談支援の方法と効果の再考」全 1 回 15 名参加<br/> 「感性と対話力の向上を目指して」全 1 回 29 名参加</p> <p>②研修ボランティア養成講座の実施<br/> ボランティア相談員の中から専門家の面接を経て、日常的な研修に携わるスタッフとして養成。<br/> →面接・講義計 6 回 延べ 54 名参加<br/> グループワーク・ロールプレイ 96 名参加<br/> スタッフ 14 名→22 名に増加</p> <p><b>&lt;実施成果&gt;</b></p> <p>研修でスキルアップを図った結果、電話相談のうち、自殺傾向のある相談を多く受け、相談に乗ることが可能になった。<br/> →人生についての悩み 4,058 件（うち自殺傾向の相談 1,088 件）<br/> 夫婦関係についての悩み 1,125 件（うち自殺傾向の相談 127 件）<br/> 精神の病・悩みについての悩み 2,160 件（うち自殺傾向の相談 502 件）<br/> ※自殺傾向とは、自殺念慮（自殺願望が日常的にある）危険、自殺予告、通告、実行中に当てはまる相談内容を指す。</p> |                                     |
| <p><b>【参考写真】</b></p>    |                                     |

|        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 事例 2-3 | 一般社団法人 日本いのちの電話連盟（東京都千代田）      |
| 事業名    | 若者等の支援のためのチャット形式によるインターネット相談事業 |
| 事業種別   | 社会福祉の増進を目的とした事業                |
| 配分額    | 50 万円                          |

**【事業内容】**

より若者のニーズに合うリアルタイムな対応を可能にするために、チャット形式の相談ツールを設置し、自殺を含む危機介入にも対応し得る相談体制を整備する事業。

**<実施内容及び実施成果>**

①チャット相談システムの開発

→当団体 HP 上にインターネット相談のページを開設。

②チャット相談施行実施

・ 第一回トライアル 2017 年 8 月 31 日（木）～2017 年 9 月 6 日（水）

→入室数 : 31 件

相談対応数 : 22 件（男性 3 件、女性 19 件）

年代別割合 : 10 代・・・19%      20 代・・・36%

30 代・・・36%      40 代以上・・・9%

10～20 代が 55%と半数を超える。

・ 第二回トライアル 2018 年 3 月 25 日（日）～2018 年 3 月 31 日（土）

→入室数 : 55 件

相談対応数 : 42 件（男性 16 件、女性 26 件）

年代別割合 : 10 代・・・14%      20 代・・・43%

30 代・・・26%      40 代以上・・・17%

第一回と同じく 10～20 代が 57%と半数を超える。

2 週間の実施で、相談件数が 64 件と若年層にとってチャットが相談ツールとして浸透していることが確認できた。

また、第二回トライアルの実施の際には、自殺傾向の相談が約 4 割あり、危機介入の対応が求められると同時に、自殺予防の役割も担うことが出来た。

※自殺傾向とは、自殺念慮（自殺願望が日常的にある）危険、自殺予告、通告、実行中に当てはまる相談内容を指す。

**【参考写真】**



|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 事例 2-4 | 特定非営利活動法人 KAプロジェクト（熊本県上天草市） |
| 事業名    | 青少年の健全育成のための自然体験教室事業        |
| 事業種別   | 青少年の健全な育成のための社会教育を行う事業      |
| 配分額    | 50 万円                       |

**【事業内容】**

近年、ゲーム機等の普及により、青少年がインドアの遊びに夢中になり、外での遊びが減少しているため、地元の青少年に自然体験をさせ、自然の美しさや雄大さを気づかせるとともに、地元の素晴らしい部分を誇りに、郷土愛の醸成を図る事業。

**<実施事業>**

熊本地震の被害にあった熊本県内の多くの小学生・中学生・高校生・未就学児を含めた子どもたち及び、上天草市内の地元の子どもたちを対象に事業を実施。

上天草市へ無料招待し、海での自然体験活動や地域間の交流・親子のふれあいを通じて、震災後大きく変化した生活環境への心のケアを図り、人と地域と自然のつながりや素晴らしさを改めて気づかせることで、子どもたちの健やかな成長を促す。

**<実施成果>**

参加者数 計 693 名 （子ども 517 名 大人 176 名）

→計画当初、参加者数目標を 500 名としていたが、693 名と大きく上回った。

また、被災地からの参加者を受け入れることで、支援する側、される側の子どもたちによる地域間交流事業として従来の自然活動教室より一歩進んだ事業を展開。

**<参加者からのアンケート>**

- ・地震後、グループで外に出る機会が減ってしまっていたが、この事業に参加し、とても良い機会になった。
- ・ライフセイバーに救命胴衣の使い方や危険な生物を教えてもらい、楽しく遊ぶだけでなく、勉強にもなった。
- ・この一年、ふさぎ込むことが多かったが、この事業に参加して、子どもたちの笑顔を見て気晴らしになった。
- ・家族全員で参加することができ、楽しい一日を過ごすことができた。
- ・母子家庭で普段なかなか子どもと野外で活動する機会が少ないので、今回参加して、子どもと自然と触れ合うことができて良かった。

**【参考写真】**



|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 事例 2-5 | 社会福祉法人 筑紫野市社会福祉協議会（福岡県筑紫野市） |
| 事業名    | 不登校に悩む保護者支援サポーター養成講座事業      |
| 事業種別   | 社会福祉の増進を目的とした事業             |
| 配分額    | 50 万円                       |

**【事業内容】**

不登校の子どもを持つ保護者の気持ちを受け止め、不安や悩みをともに考えていくことを通して、保護者自身が家庭におけるわが子とより良い関係を再構築できるように支援するサポーターの養成事業。また、養成講座修了生を対象とした、「フォローアップ講座」や不登校の基本的理解の啓発を目的とした「不登校講演会」を開催。

**<実施内容及び成果>**

・「不登校に悩む保護者支援サポーター養成講座」

開催回数：全 6 回 参加者数：延べ 34 名

→養成講座修了生の中には、本講座で学んだことを活かして地域や学校で啓発活動を実施。

現在、養成講座修了生で任意団体「ちくしの不登校ネット」を立ち上げ、不登校に悩む保護者を対象に「不登校を考える会」を開催。

・「不登校に悩む保護者支援サポーターフォローアップ講座」

開催回数：全 12 回 参加者数：延べ 82 名

→養成講座修了生を対象に、更なる学習機会の提供や今後の支援活動の立案を行う。

・「不登校講演会」

開催回数：全 2 回 参加者数：延べ 58 名

→多くの方に不登校についての理解を深めていただけるよう、講演会を実施。

また、参加者の中で子どもの不登校に悩む保護者に対しては、講師の個別相談等を実施。

**【参考写真】**



|        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 事例 2-6 | 特定非営利活動法人 しずおか環境教育研究会（静岡県静岡市） |
| 事業名    | 環境教育の場の創造のための担い手創出事業          |
| 事業種別   | 青少年の健全な育成のための社会教育を行う事業        |
| 配分額    | 50 万円                         |

**【事業内容】**

- ①小学生対象の「里山 BASE」スタッフ基礎研修
- ②小学生対象の「里山 BASE」、幼児対象事業「里山キッズ」実践研修
- ③一般向けプログラム企画研修「まちでも、もりでも。ぶれない企画の研修」開催  
環境教育の意義や必要性について、体験を通して様々な立場の人たちへ伝える事業。

**<実施内容及び成果>**

- ①小学生対象の「里山 BASE」スタッフ基礎研修  
参加者数 11 名（学生 4 名、地域の環境教育指導者 4 名、学校教員 3 名）  
→様々な業種の 10 代～60 代までの参加者を集めることができ、色々な価値観を持った人々が意見を交わすことで、より教育的議論を深めることに成功。
- ②小学生対象の「里山 BASE」、幼児対象事業「里山キッズ」実践研修  
参加者数 7～8 月 15 名（学生 5 名、地域の環境教育指導者 5 名、企業 2、学校教員 3 名）  
12 月 5 名（学生 2 名、地域の環境教育指導者 3 名）  
3 月 5 名（学生 4 名、地域の環境教育指導者 1 名）  
→学生たちには、様々な知見を持った大人と接することで、多くの視点を与えるきっかけづくりとなった。
- ③一般向けプログラム企画研修「まちでも、もりでも。ぶれない企画の研修」  
参加者数 8 名（地域の環境教育指導者 6 名、企業 2）  
→今までの団体の考え方とは違った視点から議論を行えるよう、講師を選定。  
研修内容を深めるとともに今後に向けた多くの課題を発見。

**<参加者アンケート>**

・今回初めて環境教育プログラムに参加したが、自分の対応の仕方や声のかけ方次第で、子どもたちがどんどん成長していくのを感じ、とても興味深く感じた。

**【参考写真】**



### 3. 施設改修

|  |  |
|--|--|
| 事例 3-1   | 社会福祉法人 親誠会（山口県山口市）                           |
| 事業名  | 障害者支援施設山口秋穂園（生活介護）の生産活動充実を図る純国産木耳栽培設備の新規設置事業 |
| 事業種別   | 社会福祉の増進を目的とした事業                              |
| 配分額  | 500 万円                                       |
| <p><b>【事業内容】</b><br/>           障害者支援施設「山口秋穂園（生活介護）」の生産活動の充実及び利用者の工賃上昇のため、純国産木耳栽培設備を新たに設置する事業。<br/>           設備を設置した結果、月額工賃が 20,400 円（グループホーム利用対象者）となり、目標額の 20,000 円を上回り、目標を達成した。<br/>           また、木耳菌床製造会社と菌床買取権・栽培技術指導・栽培した木耳の買取保証までのビジネスモデルを購入契約したことで農業経験のない職員でもノウハウを修得でき、短期間で事業化に成功。</p> |  |
| <p><b>【参考写真】</b></p>    |  |

|  |                      |
|--|----------------------|
| 事例 3-2   | 社会福祉法人 上尾芙蓉会（埼玉県上尾市） |
| 事業名  | 認可保育園本園と分園の危険個所の改修事業 |
| 事業種別   | 社会福祉の増進を目的とする事業      |
| 配分額  | 28 万円                |
| <p><b>【事業内容】</b><br/>           利用者の安全性を確保するための玄関スロープと園庭の改修作業。<br/>           以前は、コンクリートがむき出しになっており、特に雨の日など転倒時に頭を打ち付ける危険性があったが、改修の結果、クッション入りのカバーが付いたことで、雨の日でも転んだりせず、怪我も 0 件と安心・安全に遊べる場を提供でき、保護者からも安心したとの声もいただけた。</p> |                      |
| <p><b>【参考写真】</b></p>   |                      |

#### 4. 機器購入

|   |  |
|---|--|
| 事例 4-1  | 社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター（東京都杉並区）               |
| 事業名   | 点字印刷物により視覚障害者に適切な情報提供を行なうための点字プリンタの更改・増備事業 |
| 事業種別  | 社会福祉の増進を目的とする事業                            |
| 配分額   | 350 万円                                     |
| <p><b>【事業内容】</b></p> <p>視覚障がい者に適切な情報提供を行うために点字プリンタで印刷物を発行する事業。新しい点字プリンタの導入により、1分に25枚印刷していたものが、1分に26枚印刷できるようになり、作業の効率が上がった。また、以前使用していたプリンタは故障が多く、動作不良を起こしていたが、この点も改善された。</p> |  |
| <p><b>【参考写真】</b></p>   |  |

|   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| 事例 4-2  | 特定非営利活動法人 ライヴ（鳥取県米子市）                |
| 事業名   | 障がい者の漁業一般就労機会の創出、及び新工賃創出のための小型漁船整備事業 |
| 事業種別  | 社会福祉の増進を目的とする事業                      |
| 配分額   | 265 万円                               |
| <p><b>【事業内容】</b></p> <p>利用者の漁業一般就労機会の創出と工賃増加のための小型漁船導入事業。漁船を利用した漁業参加は、障がい者福祉事業所では全国初の試みであり、全国の24都道府県の担当者が視察にくるなど、先駆性の高い事業となった。実施年度内に実際に漁に出ることは出来なかったが、障がいのある方の漁業就労への道を開くことができた。</p> |                                      |
| <p><b>【参考写真】</b></p>    |                                      |

## 5. 車両購入

|   |                             |
|---|-----------------------------|
| 事例 5-1  | 社会福祉法人 野々市市社会福祉協議会（石川県野々市市） |
| 事業名   | 野々市市の地域福祉推進のための福祉バスの更改事業    |
| 事業種別  | 社会福祉の増進を目的とする事業             |
| 配分額   | 250 万円                      |
| <p><b>【事業内容】</b><br/>           地域福祉に関する活動（研修及び視察・交流活動・ボランティア活動等）に市民の方々が参加できるように、福祉バスの更改を実施。<br/>           車両の更改により、安全・快適に活動することができるようになったため、ボランティア活動などの社会的ニーズに対応した市民活動で、年間 127 回車両を使用し、社会貢献活動の機会を増加させた。</p> |                             |
| <p><b>【参考写真】</b></p>   |                             |

|  |                                 |
|--|---------------------------------|
| 事例 5-2   | 特定非営利活動法人 犬山あんきにくらそう会（愛知県犬山市）   |
| 事業名  | 小規模多機能型居宅介護施設の送迎及び配食サービス車両の更改事業 |
| 事業種別   | 社会福祉の増進を目的とする事業                 |
| 配分額  | 100 万円                          |
| <p><b>【事業内容】</b><br/>           デイサービスや利用者宅への安否確認を兼ねた訪問、お弁当の配達のために使用する車両の更改事業。<br/>           月平均の車両利用者数は、導入前延べ 264 名だったが、更改後、延べ 360 名で、約 100 名増加した。また、今まで乗車が困難であった利用者についても、リフトアップ機能を利用することで乗車が可能になり、大変喜ばれたと同時に、安全性及び利便性の向上につながった。</p> |                                 |
| <p><b>【参考写真】</b></p>   |                                 |

6. 東日本大震災の被災者救助・予防（復興）

|   |                            |
|---|----------------------------|
| 事例 6-1  | 特定非営利活動法人 しんせい（福島県郡山市）     |
| 事業名   | 避難障がい者と避難先地域・土・未来を結ぶ温室設置事業 |
| 事業種別  | 東日本大震災の被災者救助・予防（復興）        |
| 配分額   | 499 万円                     |
| <p><b>【事業内容】</b></p> <p>避難障がい者が自らの力で心身のバランスを整えることを目的に園芸療法を実施するため、駐車場にトレーラーハウス型の温室を設置。</p> <p>この温室は、避難障がい者や地域（郡山市）の園芸ボランティアが集うコミュニティーガーデンとなり、園芸を通して生まれる人とのコミュニケーションや社会参加のきっかけづくりにつながった。</p> <p><b>&lt;実施成果&gt;</b></p> <p>1 月あたりの利用者数 延べ 265 名（計画時目標 192 名）<br/>         園芸作業による地域住民との交流回数 67 回<br/>         ボランティア参加者 延べ 203 名（計画時目標 120 名）<br/>         →避難前に農業に携わっていた障がい者も多く、都市部の生活の中でも「土」に触れる機会を持ちたいという希望が多かったため、計画時に立てた目標人数を大きく上回り、多くの避難者にコミュニケーションや社会参加のきっかけを与えることが出来たと感じた。</p> <p>また、これまで挨拶を交わすこともなかった街の人が、「綺麗な花ですね」など声をかけてくれるようになり、花や緑の力を借りながら郡山市市民とのコミュニケーションも生まれた。</p> <p>さらに、当該事業に関心を持ち、園芸療法を取り入れたいと、他団体が見学を訪れるなど先駆性の高い事業となった。</p> <p><b>&lt;利用者からのアンケート&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院に入院していたが、退院後、しんせいで仕事ができるか不安だった。そんな時に「4 月から園芸を始めるから、ちょうど良い仕事がある。」と声を掛けてもらい、安心して仕事に戻ることが出来た。</li> <li>これからも仲間と一緒に花を育てる仕事を続けていきたいと思う。</li> </ul> <p><b>【参考写真】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |                            |

|        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 事例 6-2 | 特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校（宮崎県西臼杵郡）     |
| 事業名    | 熊本地震による被災地の復興のための「学びのある観光」醸成事業 |
| 事業種別   | 東日本大震災の被災者救助・予防（復興）            |
| 配分額    | 350 万円                         |

【事業内容】

熊本地震の被災地である南阿蘇村、西原村、益城町、観光被害が大きい高千穂町、五ヶ瀬町、山都町を含めたエリアで、観光・農業・教育の観点から住民が直接関われる様々な「学びのある観光」を醸成し、継続できる仕組みを生み出す事業。

<実施事業及び実施成果>

①農業復興支援ボランティアの実施

4月～11月、2月～3月に常時ホームページなどでボランティア人材を募集し農家に派遣。

→実施日数 54日間

参加者数 延べ231名

②熊本地震災害スタディツアーの実施

参加者は地震直後の状況をよりリアルに感じ、案内役を担う被災地の方は自分の苦しい状況を共有する。

→実施回数 7回（益城町+西原村、南阿蘇の2か所）

参加者数 延べ165名

③熊本地震被災者応援動画

「今の自分たちの苦しい現状を少しでも伝えたい」という被災者の思いを受け、ありのままを撮影・編集し動画にまとめた。

→応援動画 4本製作

④子どもキャンプ

地震による生活の変化や周辺地域の物質的变化から、少なからずストレスを感じているため、安全に思い切り遊べる環境を提供。（キャンプ・集落体験の実施）

→実施回数 13回

参加者数 延べ270名

【参考写真】

